

高校歴史総合プリント（過去問類似）
歴史総合（2025年～の共通テスト本試験）
No.4

名前

得点

/10

- 問1** 日露戦争後、特に大正期から昭和初期にかけて、都市の郊外では大衆消費社会の到来を背景に宅地化が進んだ。この時期に、和風と洋風の両方の生活様式を取り入れて建設された、新しいスタイルの住居を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）
1. 改良住宅 2. 郊外住宅 3. 洋風住宅 4. 文化住宅
-
- 問2** 近代日本の産業発達において、1890年の帝国議会開設以降、国内生産量が急増した綿糸の生産量を推計する際、その指標として「鍾数（すいすう）」が用いられる。この「鍾数」とは、綿から糸を紡ぎ出すどのような機械の規模（鍾の数）を示すものか、その機械の名称を答えよ。（2025年 全国公立入試 類似）
1. 起重機 2. 繰糸機 3. 力織機 4. 紡績機
-
- 問3** 鳥羽上皇の皇女（暲子内親王）であり、父から譲られた膨大な荘園群を伝領して巨大な経済力を保持した。治承・寿永の乱期には、平氏打倒の令旨を発した以仁王の子を保護するなど、平氏政権と対立する政治的動向を示したことで知られる女性は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）
1. 平時子 2. 平徳子 3. 八条院 4. 平盛子
-
- 問4** 豊臣秀吉による検地以降、近世の領主が農民に本年貢（本途物成）などの負担を課す基準とした、田畑や屋敷地の公定生産力を米の収穫量に換算して表した指標を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）
1. 斗代 2. 検見 3. 石高 4. 石盛
-
- 問5** 18世紀半ばにビルマ（ミャンマー）を統一し、1767年には隣国タイのアユタヤ朝を滅ぼしたが、19世紀にイギリスとの戦争に敗れてインド帝国に併合された王朝は何か。（2025年 全国公立入試 類似）
1. トウンギー朝 2. スコータイ朝 3. コンバウン朝 4. ランサーン朝
-
- 問6** 19世紀半ばのフランスでは、工業化の進展にともない都市問題が深刻化した。これに対処するため、第二帝政の皇帝の命を受けて大規模な都市改造を断行し、それまでの同じ集合住宅の階数による「垂直的な住み分け」から、地区ごとの「地域的な住み分け」への移行を促す契機を作ったセーヌ県知事は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）
1. フォール 2. フェリー 3. ギゾー 4. オスマン
-
- 問7** 平安時代の貴族の住宅様式は、壁が少なく開放的な構造を特徴としていた。これに対し、室町時代以降に発達し、ふすまや障子による間仕切りや、違い棚・付書院などを備えた武家住宅の様式を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）
1. 武家造 2. 書院造 3. 合掌造 4. 寝殿造
-
- 問8** 1990年代半ば、日本社会ではボランティア活動への関心が高まり、「ボランティア元年」とも呼ばれる契機となった大災害が発生した。この災害を機に、被災した歴史資料や文化財を救出・保全するために大学の専門家や市民らによる民間団体（史料ネット）が組織され、国や自治体の指定を受けていない未指定の文化遺産も含めた地域の歴史資料の保全活動が展開されるようになった。この契機となった災害の名称を答えよ。（2026年 全国公立入試 類似）
1. 東日本大震災 2. 北海道南西沖地震 3. 新潟県中越地震 4. 阪神・淡路大震災
-
- 問9** 20世紀後半のアメリカ合衆国において、1965年の移民法改正などを背景に急増し、現在ではアフリカ系を上回る規模に達している、主としてメキシコやカリブ海諸国などのラテンアメリカ地域にルーツを持つ人々を総称して何と呼ぶか。（2025年 全国公立入試 類似）
1. チャイニーズ 2. ラティーノ 3. インディアン 4. ヒスパニック
-
- 問10** 1920年代から1930年代にかけて、東アジアの都市部では、大衆消費社会の進展や欧米文化の流入を背景に、洋装やボブカット（断髪）など最新の流行を取り入れた新しい女性たちが登場した。東京や大阪だけでなく、日本統治下の京城（ソウル）や、租界が置かれた中国の都市などでも見られた、このような新しいライフスタイルや装いをもつ女性たちを指す呼称は何か。（2025年 全国公立入試 類似）
1. プロレタリア 2. モダンボーイ 3. サラリーマン 4. モダンガール

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 4 文化住宅	日露戦争後の都市化の進展にともない、大正期から昭和初期にかけて、中産階級を中心に都市郊外への移住が進んだ。この時期、洋風の応接間と和風の生活空間を併せ持つ和洋折衷の住宅が普及し、大衆消費社会における新しい生活様式の象徴となった。明治初期の鹿鳴館や銀座煉瓦街などの官主導の洋風化とは異なり、民間主導で一般家庭に普及した点が特徴である。
問2	答え 4 紡績機	綿糸の生産量は、それを製造する紡績機の錘数（スピンドル数）から推計することができる。1880年代に大阪紡績社が設立されて以降、日本における紡績機の導入は急速に進み、1890年代の帝国議会開設期における綿糸国内生産量の急増を支えた。力織機は布地を織る機械であり、糸を紡ぐ紡績機とは区別される。
問3	答え 3 八条院	鳥羽上皇の皇女である暲子内親王（八条院）は、父から伝領した膨大な荘園群を背景に、院政期から鎌倉時代にかけて政界に強い影響力を持った。治承・寿永の乱においては、平氏打倒を掲げて挙兵した以仁王の子を保護するなど、平氏政権と対立する姿勢を明確にした。
問4	答え 3 石高	近世の土地制度において、検地帳に登録された田畑や屋敷地の生産力は、米の収穫量（石数）に換算して表された。これを石高といい、領主が百姓に対して本年貢（本途物成）を課す際の基準となったほか、大名や家臣の知行高や軍役の基準としても用いられた。
問5	答え 3 コンバウン朝	18世紀半ばにアラウンパヤーによって建国されたコンバウン朝（アラウンパヤー朝）は、1767年にタイのアユタヤ朝を滅ぼすなど強盛を誇った。しかし、19世紀に入ると領土拡張をめぐるイギリスとの間で3回にわたるイギリス・ビルマ（ミャンマー）戦争が勃発し、最終的に1886年にイギリス領インド帝国に併合された。
問6	答え 4 オスマン	19世紀半ばのフランス第二帝政期、皇帝ナポレオン3世の命を受けたセーヌ県知事のオスマンは、不衛生な過密都市であったパリの大規模な都市改造を推進した。これにより、道路網の整備や下水道の敷設が行われ、都市の近代化が進んだ。同時に、家賃の上昇などによって労働者層が東部や郊外へ移り住むようになり、それまでの同じ建物内での階層による「垂直的な住み分け」から、地区ごとの「地域的な住み分け」へと都市構造が変容した。
問7	答え 2 書院造	室町時代の東山文化期などに発達した武家住宅の様式であり、畳を敷き詰め、障子や襖で部屋を仕切るなど、現代の和室の原型となった。平安時代の貴族の住宅様式である寝殿造とは対照的な特徴を持つ。
問8	答え 4 阪神・淡路大震災	1995年に発生した阪神・淡路大震災は、市民によるボランティア活動が活発化する大きな契機となった。文化財保護の分野においても、公的な指定を受けていない地域の古文書や民俗資料などの「未指定文化財」が散逸・破壊される危機に直面した。これに対し、大学の歴史研究者や博物館の学芸員、市民らが連携して「歴史資料ネットワーク（史料ネット）」などの民間団体を組織し、被災資料の救出や保全活動を展開した。この取り組みは、その後の東日本大震災などの災害時にも引き継がれ、民間と行政が連携した文化財防災のモデルとなった。
問9	答え 4 ヒスパニック	1965年の移民法改正によって従来の国籍別割当制度が廃止されたことで、アメリカ合衆国への移民の主流はヨーロッパからアジアやラテンアメリカへと変化した。このうち、メキシコをはじめとするラテンアメリカ地域からの移民とその子孫はヒスパニック（ラテン系）と呼ばれ、21世紀初頭にはアフリカ系を抜いて国内最大のマイノリティ（少数派）集団となった。
問10	答え 4 モダンガール	1920年代後半から1930年代にかけて、東アジアでは大衆化の進展に伴い、欧米の最新ファッションやライフスタイルを取り入れた女性たちが登場した。彼女たちは「モガ」とも略され、伝統的な規範にとられない新しい女性像の象徴となった。この現象は、日本国内の都市（東京、大阪など）にとどまらず、植民地であった京城（ソウル）や、租界が置かれた上海などの東アジア各地の都市で共通して見られた。